

平成28年度事業報告

[主 事 業 概 要]

1. (各支部)平成28年度第1回研修会

各支部組織による研修会は総会に先駆け研修会を開催。
講師派遣は、行政機関・協会長による廃棄物処理法関連をテーマに基調
講演多くの支部会員は最近の処理法に関する学習を学び、意義ある研修会
開催を収めた。



太田支部研修会



館林支部研修会



桐生支部研修会



高崎支部研修会



前橋支部研修会



富岡支部研修会

2. (各支部)平成28年度通常総会開催

各支部平成28年度通常総会の議事は、「本部事業決算統一化」遵守しての

- ①平成27年度 事業報告・事業収支報告
- ②平成28年度 事業計画(案)・事業収支(案)
- ③その他事業報告

平成28年度各支部通常総会の上程議案は慎重審議され意義ある通常総会
開催を収めた。



安中支部総会



伊勢崎支部総会



吾妻支部総会



渋川支部総会



沼田支部総会



藤岡支部総会

3. (本部)平成28年度第1回研修会開催 [Pm1:00 開会]

[概要]

通常総会に先駆け平成28年度第1回研修会は「環境行政の第一人者、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課 角倉 一郎 課長を講師に招き(講演)「産業廃棄物行政と昨今の動向」をテーマにて基調講演であった。研修会場は(公社)群馬県協会企業代表・平成28年度組織運営功労者(協会長)表彰者・産業界機関・行政機関関係機関者の多くの受講者で受講会場は満席にて会場外の受講関係者は、角倉 一郎 課長による大変素晴らしい基調講演は大成功裡を収めた。

報道機関は群馬テレビにてニュース放映、上毛新聞、群馬建設新聞 他 取材掲載される。

(環境省)産業廃棄物 角倉 一郎 課長による平成28年度廃棄物処理法の改正・見直しの論点は、産業廃棄物を単に適正処理する業界から産業廃棄物を環境と資源循環製造推進する処理業界へと急変革期を迎えての対応で、施策は健全・充実・活性化と優良事業者への人材育成確保に関する優良認定制度の普及促進に関わる実務者研修による育成確保と処理管理システムの形成等、処理業界は新たな発想転換の重要課題が山積している状況下である。



4. ぐんま環境フェスティバル実行委員会(主催)

(県共催)平成28年度環境イベント開催運営功労者

表彰式 執行 [Pm2:10 開会]

[概要]

産・官・学連携によるぐんま環境フェスティバル開催運営は、産・官・学の60団体組織により構成され、例年、環境フェスティバル開催は、群馬県環境森林部環境政策課と廃棄物・リサイクル課の二課によるご指導ご支援を仰いでいる。

開催運営は協賛活動により捻出して、特に開催会場はヤマダ電機様の特段な御厚意により設営。(公社)群馬県環境資源保全協会のボランティア活動により開催事務局を担って開催運営にあたっている。

(標記)環境啓発イベント開催運営に尽力、貢献される功労者に対して、群馬県知事より環境功労顕彰表彰者に表彰状と記念品が贈呈される。

尚、当日開催リーフレットに開催運営に寄与された企業に対し、社会に貢献する企業欄にご芳名を記入しての協賛活動を展開している。

5. (本部)平成28年度通常総会 [Pm3:00 開会]

開催にあたり開催セレモニーは女性部会・適正処理推進員よる、ご来賓によるピンクの薔薇を掲示板「環境県ぐんまの創造」に華文字を掲げ(協会旗)(啓発のぼり旗)掲揚し協会衣・腕章を着衣しての(群馬県歌)の演奏に合わせ、総会満席の会場に披露、多くのご来賓・協会企業代表者・協会長表彰(組織運営功労)者により賞讃の大きな拍手にて開会セレモニーは成功裡を収めた。

[通 常 総 会 次 第]

※(司会)小島 克也 理事 (アシスタント)塩原 厚子氏による進行

※開催成立有効定足数の確認。全員出席者数、委任状数により開催成立す。

1. 開 会 の 辞
2. 協 会 長 挨拶
3. 来 賓 祝 辞

(群馬県知事・群馬県議会議長・群馬県警本部・前橋市長・県商工会議所連合会)

4. 来 賓 紹 介
5. 協 会 長 表彰 (組織運営功労者)
6. 祝 電 披 露
7. 議 事

第1号議案 平成27年度事業報告

第2号議案 平成27年度収支決算並びに監査報告について

第3号議案 平成28年度事業計画(案)承認について

第4号議案 平成28年度収支予算(案)承認について

第5号議案 その他

8. 閉 会 の 辞

平成28年度通常総会は多くのご来賓のご臨席と協会員企業代表者、協会長表彰(組織運営功労)者の出席にて、議場は全ての上程議案が承認可決され大成功裡を収めた。



6. 環境を考える交流会開催 [Pm5:30 開会]

例年、通常総会に引続き関係機関、産・官・学機関参加による環境を考える交流会を開催。

[開 催 次 第]

(進行係)木村 良彦 副会長 (アシスタント)塩原 厚子氏

1. 開 会 の 辞
2. 協 会 長 挨 拶
3. 来 賓 祝 辞
4. 来 賓 紹 介
5. 乾 杯
6. 交 流
7. 中 々
8. 閉 会 の 辞

各機関出席者は必ず環境をテーマに一言挨拶して、交流会は今後の展望に大いに役立つ意義ある環境社会を考える交流会の参画を期待。

7. 組織の拡大・拡充促進について

公益法人移行し5年を迎え、当組織のテーマである「信頼・強調・自立」を念頭に、更なる組織・業界の充実・健全化を目指し「本部事業決算統一化遵守」による組織運営は基より、優良事業者推進に関する会員加盟勧誘活動の積極的展開を図った。

8. 労働安全衛生体制の整備確立の推進について

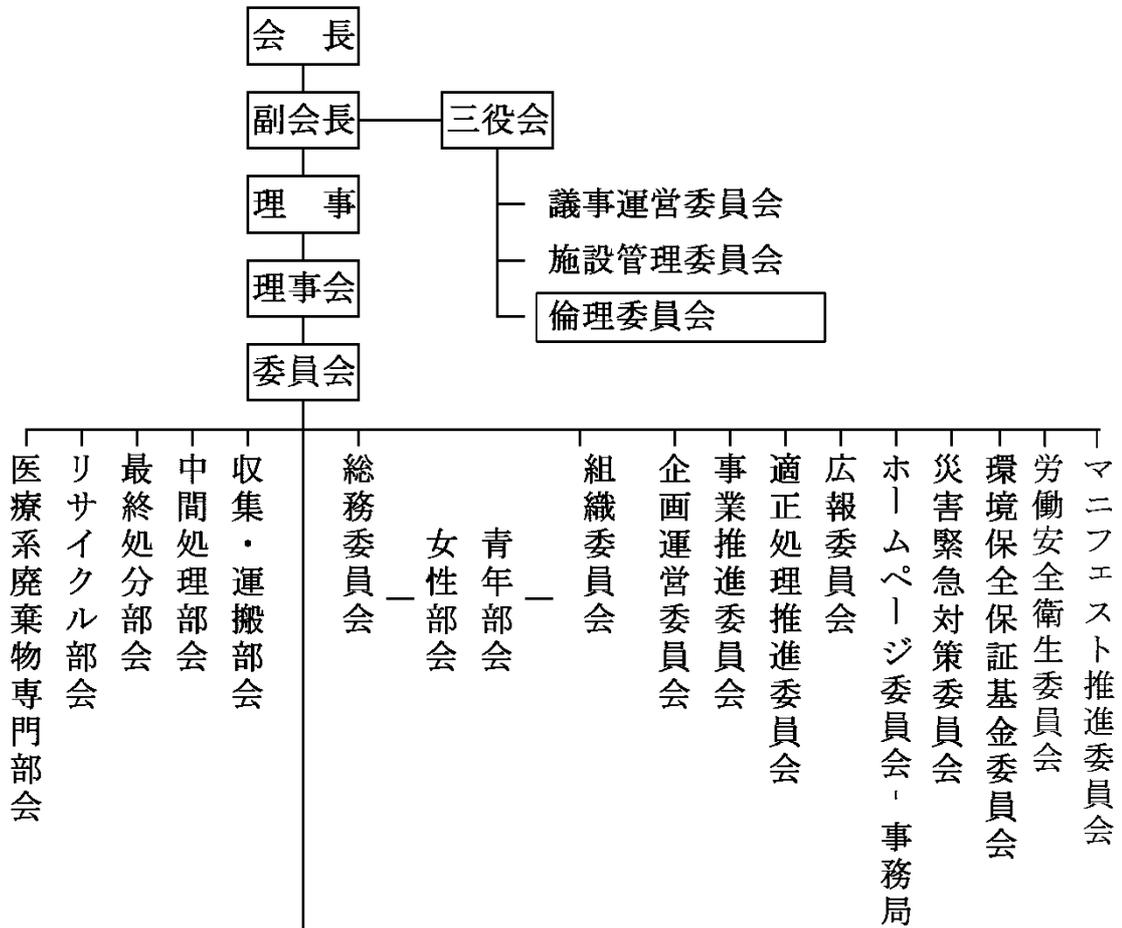
(公社)全国産業廃棄物連合会の安全衛生委員会と連携し労働衛生・安全環境整備確立による労働における衛生・安全環境整備、並びに第三者機関に対する環境整備対策を策定し、労働環境の整備・円滑化体制に万全を期し、労働災害・事故の災害防止の徹底を図った。

9. 公益法人組織の事業に関する積極的展開について

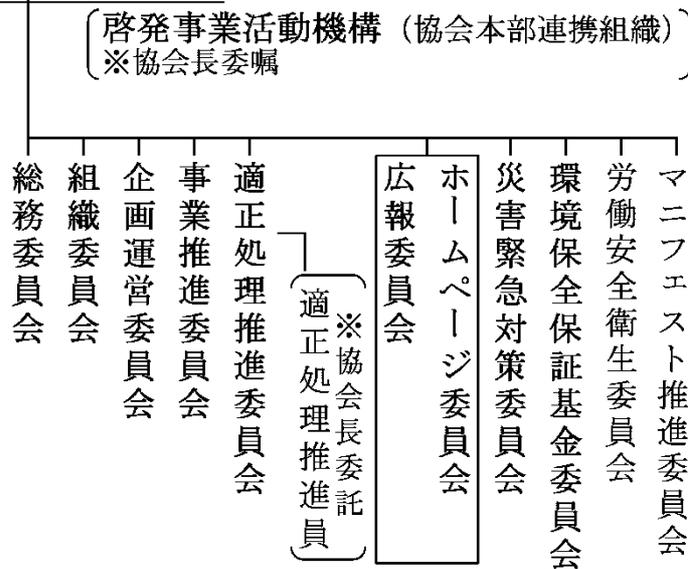
本協会では協会の事業運営を円滑に遂行を図ることとし組織体制に各委員会を設置、各委員は協会長が委嘱する。
委員会は各主務内容の推進のため、委員会規則に各委員名並びに主務内容を分担し業務の遂行を図った。

組織体制機構編成図

【本部】 組織体制



【支部】 組織体制



公益社団法人群馬県環境資源保全協会

組 織 機 構

委 員 会 規 則

〔前 文〕

本協会では、協会の事業の運営を円滑に遂行を図ることとし、次の組織体制に各委員会を設ける。
 ※委員は協会長が委嘱する。

委員会は、各々主務内容の推進のため、本委員会規則に各委員会名並びに主務内容を分担し業務の遂行を図る。

委員会名	主務内容
環境保全保証基金委員会	・環境保全保証基金の運営管理並びに県行政との共催基金事業の実施 ・事前調査・事業実施管理運営
施設管理委員会	・環境教育施設並びに処理施設確保に係る優良モデル事業化の促進対策及び実施に係る関係機関・関係団体との連携による事業推進
倫理委員会	・組織の健全化推進に関する会員の資質研鑽、モラル向上に係わる審議指導
議事運営委員会	・上程議案の検討審議資料作成並びに議事円滑化運営
総務委員会	・組織規程・財務計画の立案、事務管理 ・後継者の指導等育成並びに連携事業の促進等
組織委員会	・組織の拡大拡充、入会者加盟促進啓発 ・入退会者並びに変更に関する調査審議 ・組織の健全化に係る会員資質向上及び組織の統一運営
企画運営委員会	・講習会・研修会・啓発イベント等、協会の事業計画の立案作成及び事業企画運営
事業推進委員会	・事業計画に基づく普及啓発イベント等事業運営推進 ・関係機関、関係団体と連携促進
適正処理推進委員会	・適正処理の推進に係る処理システムの確立を図る ・組織に廃棄物適正処理推進委員12支部6名(計72名)を協会長が委嘱 ・行政機関、関係機関と連携し不適正処理・不法投棄防止の巡視・啓発推進
広報委員会	・組織運営に係る情報収集提供・機関誌の発行 ・普及啓発活動・関連事業実施時等の報道機関との連携促進
ホームページ委員会	・協会の情報公開のためのホームページ運営並びに業務効率化、情報基盤の強化を目指した組織会員相互の情報網の構築、整備を図る
災害緊急対策委員会	・国、県並びに市町村と連携し、地域社会に密着し災害時における災害廃棄物の緊急処理保管施設の確保、設置 ・災害廃棄物の適正処理の円滑化、的確な環境衛生施策の実施を目指して災害廃棄物処理支援体制の構築・整備を図る
安全衛生委員会	(※(公社)全国産業廃棄物連合会安全衛生委員会と連携事業) 労働衛生、安全管理体制の整備確立による労働における衛生、安全環境整備並びに第三者機関に対する環境整備対策を策定し、労働環境の整備・円滑化体制に万全を期し、労災事故・災害防止の徹底を図ることとする。 ・廃棄物処理時の衛生安全管理体制企画要領の徹底 ・廃棄物の不適切物の再確認要領の徹底 ・衛生安全・事故・災害対策要領の徹底 ・作業用機械の日常の点検整備マニュアル徹底 ・衛生安全着衣の徹底 ・火気、爆発物の再点検の徹底 ・一人作業の防止及び点呼の徹底 ・その他
マニフェスト推進委員会	マニフェストシステムの適正処理推進事業 (公社)全国産業廃棄物連合会と連携マニフェスト頒布事業の推進及び利便性向上とマニフェスト番号管理システムの運用啓発業務 ・廃棄物発生時の処理伝票の頒布及び運営管理 ・マニフェストの運用促進啓発 ・電子マニフェスト加盟・運用の啓発促進